

主治医にシツクタイ時の対応について

あらかじめ確認しておきましょう。

- ・十分に水分(最低1L以上)を摂り、脱水予防を。
- ・消化のよい食べ物(うどん、おかゆ、スープ)などで水分・炭水化物・ミネラルを摂取しましょう。
- ・可能ならこまめ(3-4時間おき)に血糖測定をしましょう。
- ・体調不良が続く、改善しなければ早めに主治医に連絡してください。
- ・経管栄養の方で、栄養剤の投与が困難なときは、水分投与を心掛けます。

シツクタイ時 対応

糖尿病薬(注射)の調節

薬剤	食べられる	食べられない
基礎(持効型)インスリン ☐ トレシーバ ☐ ランタスXR ☐ ランタス(グラルギン) ☐ レベミル ☐ アウィクリ(週1回製剤)	通常通り	継続(減量は可)
追加(超速効型)インスリン ☐ ノボラピッド ☐ ヒューマログ ☐ アスパルト ☐ リスプロ ☐ フィアスプ ☐ ルムジェブ など	普段量食べられるなら通常通り。 食事量に応じて減量。 例) 食事：半量 →半量を皮下注射 食事：25%以下 →皮下注射をスキップし(*)へ	中止(*)へ
GLP-1受容体作動薬関連 ☐ ビクトーザ ☐ オゼンピック ☐ トルリシティ ☐ マンジャロ など	継続	中止

✓ 混合製剤を利用している方は個別に主治医に確認ください。

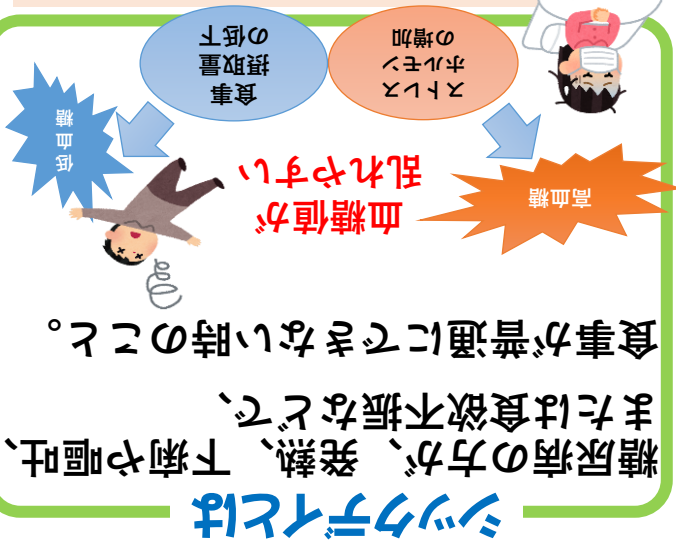
✓ インスリン依存型糖尿病の方(1型糖尿病及び一部膵性糖尿病)は、基礎インスリンをしっかり継続しましょう。

* こまめに血糖測定を行い、高血糖時は以下の指示で超速効型インスリンを投与してください。(主治医より記載を)

血糖値 300-399mg/dL : _____ 単位を3-4時間毎
400- mg/dL : _____ 単位を3-4時間毎

こんな時は病院に連絡

- ・下痢、嘔吐が強く、改善しない。
- ・全く食事が摂れない。
- ・高熱が続く。
- ・普段よりも高い血糖値が続く。
- ・のどの渇きがひどい。
- ・意識レベルの低下。
- ・糖尿病の薬の量の自己判断に迷うとき。



糖尿病薬(飲み薬)の調節

薬剤	食べられる	食べられない
SU薬 ☐ グリメピリド(アマリール) ☐ グリミクロン ビグアナイド薬 ☐ メトホルミン(メトグルコ) SGLT2阻害薬 ☐ ジャディアンス ☐ フォシーガ ☐ カナグル ☐ スーグラ ☐ ルセフィ ☐ デベルザ	中止	中止
グリニド薬 ☐ レパグリニド(シュアポスト) ☐ ミチグリニド(グルファスト)	継続可 ※主治医の指示に従う	中止
GLP-1受容体作動薬 ☐ リベルサス	継続	中止
その他の飲み薬()	継続	中止

※下痢の時は飲み薬の吸収、摂取した栄養素の吸収が悪くなることがあります。

※2種類の薬剤を配合した「●配合剤」(エクメット配合錠、イニシンク配合錠、トラディアンス配合錠など)を利用している方は調節方法を主治医に確認してください。

注) 上記は東京医科大学病院採用薬が中心になります。他院通院中の方はかかりつけ医へご確認下さい。